



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 104 号

2012.9.20

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- ー芸北せどやま再生事業について
- ー新スタッフについて

観察会案内

- ーキノコの観察会
- ーサツキマス保全の試み

お し ら せ

●芸北せどやま再生事業のお知らせ

西中国山地自然史研究会では、「芸北せどやま再生事業」に取り組みます。芸北のせどやま（家の裏山）を良い状態に整備し、森林資源を有効に活用することで、地域の発展と地球環境保全の実現を目的に実施します。私たちはせどやまにある木材の有効活用をとおして、地域の活性化を試みます。せどやまの木を搬出してくれた人に、森林整備の対価として「せどやま券（地域通貨）」で支払います。木を実勢価格より高く買い入れることで、木材の有効利用と、山仕事の復権を目指します。これまでハードルが高かった木材出荷を、軽トラックに積載できる2m足らずの短材でも気楽に出荷できるようにすることで、より多くの方が山仕事に関わる事が出来るような仕組みを作りたいと思います。さらに、その対価を芸北地域でしか利用できない地域通貨「せどやま券」で支払うことで地域の活性化を図ろうとするものです。この事業は、美しい里の景観を作りながら地域の活性化を目指すものです。太田川森林組合芸北支所のスペースをお借りして、10月より開始します。

●新スタッフのご紹介

芸北せどやま再生事業にともない、NPO 法人西中国山地自然史研究会のスタッフが増えました。主に、木の受け入れや加工、地域通貨の手配などを行ないます。

「私はNPOの新人スタッフとして働き始めた深井アナベルです。みなさんのご指導やご協力で早く仕事に慣れるようにがんばります。よろしくお願ひします。」
深井アナベル（NPO 法人西中国山地自然史研究会）

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● キノコ観察会

開催日時：2012年10月6日（土）9:30
集合場所：聖湖キャンプ場駐車場
講師：川上嘉章・新谷正信
準備：基本セット、かご
定員数：30名
参加費：一般 = 300円
 賛助会員 = 100円
 正会員・中学生以下 = 無料

秋になったらやっぱりキノコ！専門家の講師から「食べられる？食べられない？」の疑問から、名前・特性・生息環境まで幅広く教えていただきます。キノコを探すのも楽しいですよ。



● サツキマス保全の試み

開催日時：2012年10月8日（月・祝）9:30
集合場所：八幡高原センター
講師：内藤順一
準備：基本セット、双眼鏡
定員数：30名
参加費：一般 = 300円
 賛助会員 = 100円
 正会員・中学生以下 = 無料

この時期、産卵のため柴木川にサツキマスがのぼってきます。堰の設置による産卵場所の減少からサツキマスを保全するため、一部の個体を捕獲し、上流部に移動します。現地に行く前に、映像や資料を使って繁殖生態なども学びます。内藤先生が撮影したサツキマスの産卵シーンは必見です。



秋の風が吹き始めた八幡高原では、秋の草花が湿原や草原を彩っています。アケボノソウ、タンナトリカブト、マアザミ、サラシナショウマ、ビッチュウフウロなど、花を見たり匂いをかいだり、楽しみ方もたくさんあります。短い夏と長い冬の間の秋もしっかりと過ごしたいものです。芸北のりんご、おいしくて毎日食べています。（このの）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info